

岡谷市議会 1 2 月定例会一般質問要旨について（スポーツ振興課）

○山崎 仁 議員

1 市内スポーツ施設の状況について

（1）岡谷市営陸上競技場のあり方

（2）営業期間外におけるやまびこ国際スケートセンターの活用

山崎 仁 議員

| 統括主管  | 課長  | 部長  | 教育長   |
|---|---|---|---|
|  |  |  |  |

**No.1 市内スポーツ施設の状況について**

**(1) 岡谷市営陸上競技場のあり方**

Q 現在、岡谷東部中学校校庭を市営陸上競技場として利用しておりますが、現状及び課題についてお聞かせ願います。

**A【市長】**

岡谷市営陸上競技場については、すでに陸上競技を行う環境が整っていた岡谷東部中学校の校庭を利用した市営陸上競技場として、昭和42年10月に設置され、第4種公認陸上競技場として、日本陸上競技連盟より公認を受けております。以降、公認の更新を継続してきており、現在の公認の有効期間は令和4年10月9日までとなっております。

これまで、春の市民陸上競技大会や秋の市民陸上選手権大会、岡谷市陸上競技協会による陸上教室などを通して、多くの市民の皆様にも愛されるとともに、塚原直貴選手をはじめとする多くのアスリートを輩出した歴史ある競技場として親しまれてまいりました。

あらためて、日頃より維持管理に努めていただいております陸上競技関係の皆様や学校の先生方に心より感謝申し上げます。

しかしながら、このまま岡谷東部中学校の校庭を公認の陸上競技場として維持していくためにはいくつかの課題があります。

まず、岡谷東部中学校の校庭は、市営陸上競技場である前に、子どもたちが体育の授業や部活動で汗を流す学校教育の場であります。

その他の学校では、参観日等の学校行事や教職員研修会の開催、PTA活動の実施等にあたっては、参会者の駐車場として校庭を利用することがありますが、岡谷東部中学校の校庭は公認陸上競技場であるため、駐車場としての利用ができませんでした。

そのため、学校の生徒や保護者の皆様、先生方などに、大変ご不便をおかけしている状況にあります。

また、中学校の部活動では、陸上部以外にも、野球部やサッカー一部が使用しておりますが、陸上競技場として利用するためにはその都度整備が必要になってまいります。

それに加えて、5年に一度の公認更新においては、検定員の指摘事項に基づき公認を受けるための整備工事を行う必要がありますが、過去の平均工事費は720万円にのぼり、この他にもルール改正への対応や更新に必要な備品整備などに多額の費用が必要となります。

このような状況を踏まえ、岡谷東部中学校の校庭を日本陸上競技連盟公認の陸上競技場として利用していくことには多くの課題があり、今後は、学校の教育活動と市民

の皆様が陸上を楽しむ場としての機能を両立させていくことが大切であると考えております。

## 2回目

Q 岡谷市営陸上競技場について、『広報おかや』11月号の記事で紹介された岡谷市公共施設個別施設計画において、「市営陸上競技場としての位置づけは維持し、公認更新は行わない予定」と記載があったが、今後の方針についてお聞きします。

A【教育部長】

令和3年3月に策定いたしました岡谷市公共施設個別施設計画において、市営陸上競技場については令和3年度中に方針を決定するとしておりまして、学校現場における影響や公認を継続するために多額の費用が必要になることなどの課題を基に、関係団体と協議を重ねた結果、市営陸上競技場としての位置づけを維持しながら、令和4年10月9日をもって公認を終了することとしたものでございます。

## 3回目

Q これまで公認の陸上競技場として維持管理してきた施設を公認しないことについてのどのように考えているか。また、関係団体（岡谷市陸上競技協会等）からは、どのような意見があったのかお聞きします。

A【教育部長】

来年10月をもって公認を終了しますが、開設以来多くの市民や選手が利用してきた歴史ある施設であることから、今後も多くの市民が利用し、競技人口の底辺拡大と競技力向上を図り、本市のスポーツ振興に資する施設として、引き続き市営陸上競技場としての位置づけを維持しながら、適切な維持管理に努めてまいりたいと考えております。

また、公認更新の終了に関する関係団体との協議につきましては、課題等を共有しながら何度も協議を重ねてきており、本年4月に岡谷市陸上競技協会より、走路や助走路等が土であることから記録更新が難しく、整備に多額の費用が必要であることなど課題も多いことから、令和4年10月9日の有効期間満了をもって公認を終了することについては市の方針に同意する旨の回答をいただいております。

## 4回目

Q 私も日本陸上競技連盟の公認を受けるには、多額の整備工事費がかかる上に維持管理も大変であり、先ほど課題について言われたように、各行事のための校庭を仮の駐車場にできない不便さも問題だと感じておりました。

今年度は岡谷東部中学校の改築工事が完了し、正面入口の校舎の横にあった大きな木々もある程度撤去、取り除かれて、駐車場スペースは多少以前より確保されたと思います。それでも東部中学校の卒業生の方々にお話を聞く機会がありまして、もともとやはり以前から車の駐車場スペースが少ない学校なのに、公認することにより多くの課題があるのならば、更新しないことには賛成するという意見もお聞きしております。

しかしながら、選手は自身の記録更新や目標に向かって日々練習を積み重ねていると思います。岡谷市営陸上競技場が公認を継続しないことで、ここで開催した大会や記録会で選手たちが出した記録は公認として残らないこととなります。

このような状況の中で、選手のモチベーション維持と、近隣公認施設では茅野市や伊那市も更新しないのではないかと噂されており、公認として記録が残る近隣自治体の公認陸上競技場の整備状況についてお聞かせ願いたいと思います。

A【教育部長】

公認の終了により、令和4年10月以降、市営陸上競技場の記録は日本陸上競技連盟の公認記録とはなりません、大会等の記録としては残されてまいります。

また、学童や中体連、高体連等の上位大会につながる大会については、以前より第1種、第2種、第3種の近隣の公認陸上競技場で開催されており、選手は今までと変わりなく陸上競技に取り組めるものと考えております。

近隣の公認陸上競技場の整備状況であります、松本平広域公園陸上競技場が第1種公認、伊那市陸上競技場が第2種公認、下諏訪町陸上競技場が第4種公認の陸上競技場となっております、いずれも専用の陸上競技場であります。

なお、茅野市運動公園陸上競技場につきましては、昨年12月に新聞報道等により、公認更新をするかが課題になっているとのことでありましたが、現在は、公認の継続申請に関する「検定延期願」の手続きを行い、今後、茅野市陸上競技協会等とも協議しながら公認に向けて検討しているとお聞きしております。

《要望》

各スポーツ施設の維持管理には、今後相当な費用がかかるため、資金面で難しい局面を迎えることが予想されます。

これからは各市町村で立派なスポーツ施設を多く保有するのではなく、特化したスポーツ施設を各市町村で分散化することによって、建設費、改修費が節約できたり、1か所集中投資により大きな大会が開催されるすばらしい施設に生まれ変わることもあろうかと思えます。

公認の陸上競技場のように湖周で上位大会なども開催できる立派な各スポーツ競技場、会場を2か所ぐらいつ造っていただいて、スポーツ施設の湖周6市町村連携であります。

どうぞこのような感じのまた御検討をいただきますよう、よろしく願いいたします。

陸上競技はスポーツの根幹となる競技であることから、ぜひ選手育成に力を貸していただければと思います。岡谷市のスポーツ活動が活発になることで、活気あるまちづくりとなります。

(2) 営業時間外におけるやまびこ国際スケートセンターの活用

Q 現在、鳥居平やまびこ公園内にやまびこ国際スケートセンターの施設がありますが、11月下旬から2月中旬までの間、スケートセンターとして施設がオープンし、各大会の開催や選手の練習場所、一般利用者など、多くの方々が利用していますが、営業期間外も含めた年間のスケートセンターの利用状況及び利用者数についてお聞かせ願います。

A【教育部長】

やまびこ国際スケートセンターの営業につきましては、岡谷市スポーツ施設条例において、使用期間を11月20日から翌年2月20日までとしており、この期間内において気候や製氷状況などにより開場期間を定め営業しているところであります。

また、年間を通して、指定管理者である株式会社やまびこスケートの森の自主事業としてトレーニングセンターを開設しており、多くの方がトレーニングルーム、検診室、計測室、ケアルーム等を利用しているほか、スケートセンターの営業期間外については、リンクを屋外のランニングトラックとして活用するなど、市民の皆様の健康増進に取り組んでいるところであります。

それぞれの利用者数については、令和2年度のスケートセンターでは、一般利用者、大会、記録会等を含め18,038名、トレーニングセンターでは、会員、一般及び、教室利用を含め16,107名となっております。

新型コロナウイルス感染症が流行する以前の令和元年度のスケートセンターでは、24,365名、トレーニングセンターでは、会員、一般及び、教室利用を含め30,938名となっております。

## 2回目

Q スケートの営業期間外の屋外リンクについては、現在のところランニングとして使用することが中心となっておりますが、もっと有効に活用できればと思います。

有効活用に対する市の考えと特にリンク内側のスペースについて面積も広いが、過去に何か利用した経過はあるかお聞きします。

A【教育部長】

過去の営業期間外におけるリンク内側スペースの活用例ではありますが、テニスコートを6面整備し開放しておりましたが、厳しい気候環境下のなか、不陸や亀裂、表面の下地が剥離するなどによりコート面が劣化し、球技での使用が難しい状況となり、使用を中止とした経過があります。

現在では、不陸等が発生していないリンク面を中心にランニングトラックとして活用しているほか、フリーマーケットを開催するなど有効活用に努めております。

施設の有効活用については、施設の用途、目的を妨げない範囲内においてどのような活用ができるか、指定管理者である株式会社やまびこスケートの森と情報共有をしながら、さらに研究してまいりたいと考えております。

## 3回目

Q フリーマーケットについて、新型コロナウイルス感染症の影響で2年ほどこのところ開催されていないと思いますけれども、指定管理者との話合いの中で、今後再開する予定はあるのでしょうか。お聞かせ願いたいと思います。

A【教育部長】

フリーマーケットにつきましては、やまびこスケートの森の自主事業として、毎年開催しておりましたが、お話のとおり新型コロナウイルス感染症の拡大に伴いまして、来場者の安全を考えまして、令和2年度、令和3年度、2年度にわたって中止となっております。今のところ新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきておりまして、この感染状況を踏まえまして、感染対策を講じる中で、ぜひ再開していきたいとお話をお聞きしているところでございます。

#### 4 回目

Q 施設の課題はありますが、例えば3オン3のコート等、小スペースで運動スポーツが取り組める環境を整備し、施設の有効活用を図ることができれば、利用者の増加につながると思うが、今後の活用方法等、何か考えはあるかお聞きします。

#### A【教育部長】

屋外リンクの有効活用につきましては、現在のところ具体的な予定はありませんが、引き続き、市内のスポーツ振興のニーズも把握する中で、指定管理者とも情報共有をしながら研究して参りたいと考えております。

#### 《要望》

傷んでいる箇所があるということで、今のところ具体的の予定はないとのことですが、トレーニングセンターは1年を通じて運営をし、活用されておりますけれども、スケートセンターにおいては実質使用期間が3か月で、今後は地球温暖化もあり、もっと使用期間が短くなると予想されます。せつかくの広いスペースがあるので、営業期間外の長い間、何かに使用できないかと思うわけであります。

そこで、何度も提案している3×3であれば、比較的小スペースで活用でき、ごつごつした劣化したアスファルト面でも、転圧し、不陸を直すだけで、特殊なプラスチック製の板を敷きつめれば、正式なコートとして使用できるそうです。

また、隣接する建物のスカイラインミュージアムも、興味がない方には何でもない施設ですけれども、興味を持っているファンの間では聖地となっており、毎年一定数の人々が訪れております。このような、全国でも有名なスカイラインミュージアムを岡谷市民は名所と認識していない方が意外にも多いのではないかと考えられます。

そこで、もっと全国にも市民にも認知度を上げるため、SNSなどを活用し、私のスカイライン自慢集まれのようなイベントをスケートセンターで開催してはどうかと思うわけです。

スカイラインを保有している方にこちらまで乗ってきていただき、車をお借りして展示いたしまして、それを目当てに来場されるファンが集まってきます。屋外ならではのエンジンをかけ、アクセルをふかす。車のファンにはたまりません。イベントに多くの市外の方々が集まれば、イベントの前後に市内観光や食事をしていただければ、経済効果も見込め、名所として知名度も上がります。

こんなこともどうでしょうか。ぜひご一考をお願いしたいと思います。

指定管理者としてやまびこスケートの森に業務委託しておりますので、なかなか行政が介入するのは難しいと思われましても、お互いにこの施設を有効活用するために、今まで以上に意見交換、情報共有を深めていただきたいと切にお願いいたします。